



令和8年2月25日発行  
熊谷市立市田小学校

花と笑顔とあいさつ「ありがとう」いっぱい学校

市田小HP <http://www.ichida.ed.jp/>

市田小HP→



## 道を選ぶとき

校長 森 洋子

朝のあいさつ、通学班での登校、授業の様子。どの学年も生き生きと学ぶ姿が頼もしく、誇らしく感じます。支え、助け合う姿が市田小学校にはあります。のびのびと育っている姿を見ていると、大きくなっても生き生きと、助け合って生きる喜びを感じながら生活して欲しいと、心から思います。

最近「子供の気持ちに寄り添う」という言葉をよく聞きます。保護者の方も聞いた事があると思います。「気持ちに寄り添う」とは、「相手の気持ちに共感する」こと。

例えば、「まだ寝たくない!ゲームがやりたい!」と子どもが言った時に、どう言葉を返しているでしょうか。

子どもの気持ちを十分に想像して、「そうか、まだゲームがやりたかっただね。でもやめないといけないのは辛いね」。これが「共感」「気持ちに寄り添う」ということ。それでも「まだやりたい!」という事を「そうか、やりたいなら少しだけ……」受け入れる事は共感ではないと考えています。

生活の中では、なかなか難しい事ですが、「あなたの気持ちはとてもよくわかるよ」という共感と、「じゃあもう少し」と子供の要求に応える、という事は違う事だと思っています。

もしゲームを止めることができないのなら、「まだゲームやりたいんだね。それだけ好きなら、それは辛いね。でもゲームは〇時までという約束だからそれは守ってね。そんなに好きなら、ちゃんと約束を守ってまた明日楽しくやろう」と伝え、「家族の軸」を示すことが大事だと思っています。

大人は自分の価値観、確固たる軸を持っていると思います。それを折に触れ、**家族の軸や想いを、どうぞ子供達に伝えてください**。その「家族の軸」を「学校の学び」と重ね合わせて、子供達は自分の軸を少しずつ確立していくのだと思います。子供達はその軸を自分のものとし、自信を持って“自律”に向かって歩き出す時、これまでの成功や努力、困難や悔しい経験がきっとプラスに働くに違いありません。

みんなの大好きなドラえもんの一場で「きみはかんちがいしてるんだ。道をえらぶということは、かならずしも歩きやすい安全な道をえらぶってことじゃないんだぞ。」とのび太君に言う場面があります。



【出典：https://stat.ameba.jp】

ICTの急速な発展、AIの台頭。個性を尊重し、選択肢が増えた昨今。授業の形も、学びの幅も広がっています。ですが、何かを選ばせる時、**いつも大人が先回りし、子供達が望むように、躓かないように、歩きやすい道を選べば良いということではなく、苦勞してやり遂げる経験も必要だと考える事ができます**。毎日の小さな習慣や我慢が、いつか本物になり、子供達の支え・力となり、根っこになるはずだからです。



1年間、市田小学校では、子供たちの自律に向け、根っこ（生活・学力の基礎基本）を大事に育てつつ、「今、持っている力いっぱい」「自信が持てない時も一歩踏み出す事」「自分より小さな者を大切にすること」等、自律に向けて根っこを育てようと、先生方と取り組んできました。楽しい授業にするために、たくさんの仕掛けと工夫を取り入れてきました。失敗しても大丈夫な学校を目指してきました。うまくいくことばかりではありませんでしたが、それもみんな大きな経験として、子供たちの心に残っているはずですよ。

この1年、子供たちの根っこは、太くのびのび育ったのでしょうか。保護者・地域の皆様、これからも子供たちの**可能性に期待し、太く大きな根っこが育つよう、子供達が力いっぱい広げた枝葉に豊かな言葉を、そして温かな光を与えてください**。1年間温かく支え、見守ってくださり、大変ありがとうございました。私たち教職員は皆様の応援を支えに、力を合わせてラストスパートといきます。

学校教育目標

いき生きと学び

ちからいっぱい活動し

だれとでも仲良く

## 最後の授業参観

2月5日（木）13日（金）授業参観ではお忙しい中、また寒い中、学校に足を運んでいただき、誠にありがとうございました。今年最後の授業参観では、1人1人の成長が感じていただけましたでしょうか。また、学校での子どもたちの様子や懇談での担任の話から、学年の成長や今後の目標のお話があったと思います。是非、次年度に向けてまとめをお願いします。



## ボランティア活動・感謝の会

### ボランティアの方 募集中

登下校の見守りや植木の剪定などボランティア活動のできる方を募集しております。担当教頭 536-0550



2月24日（火）ボランティア活動の方へ感謝の会を行いました。子どもたちへの登下校を見守って下さっている方や、読み聞かせを行っている方へ、お手紙やお花を渡してささやかながらも感謝の気持ちを伝えました。いつもボランティアを行ってくださる地域の皆様本当にありがとうございました。これからもよろしくおねがいします。



避難訓練  
自分の命は自分で守ります

4年生和太鼓体験  
大きな音を感じました